

「教会のビジョン」について

問：「白根福音教会はどのような教会ですか」

答：「みことばに生かされ、天と地に仕える（教会）」

上記ビジョンは 2022 年度予算総会資料で掲げられました。そこには「福音に生かされ、イエスを主として生きる者たちとしての教会の姿を、初代教会に戻りつつ探す」とあります。

今私たちは「使徒の働き」から初代教会がどのような教会であったかを学んでいます。そこには聖霊のダイナミックな力のもと、復活の主イエスを証しし、主イエスのみわざを引き継いで、神の国を体現し、言葉と実際の生活スタイルで福音を宣べ伝える教会の姿があります。

ビジョンで言う「天」とは三位一体の神ご自身のこと、そして「地」とはその神が創造されたすべてのものを指します。ですから福音伝道に直接携わることも、社会の弱っている人々を支えることも、被造物である自然環境や動植物の保護もまた地にお仕えすることです。続けて理解を深めていきましょう。

コロナの影響で福音伝道の環境はだいぶ様変わりしました。福音が届く環境づくりを改めて模索していきましょう。参考図書はお読みにになりましたか。

※参考図書：森谷正志著『教会・神学校に迫られるパラダイムの転換』（いのちのことば社、2021年）、朝岡勝著『教会に生きる喜び-信徒と牧師のために教会論入門』（教文館、2018年）